



ブリヂストングループ報

記事一
覧メッセージボ
ードライブ
러리Arrowにつ
いて

TOP > 記事一覧 > (アロー君) 世界最大規模のテクノロジーが集結！ブリヂストンも出展した「CES®2023」に行っ

(アロー君) 世界最大規模のテクノロジーが集結！ ブリヂストンも出展した「CES®2023」に行ってきたよ

2023.02.07

ハロー！

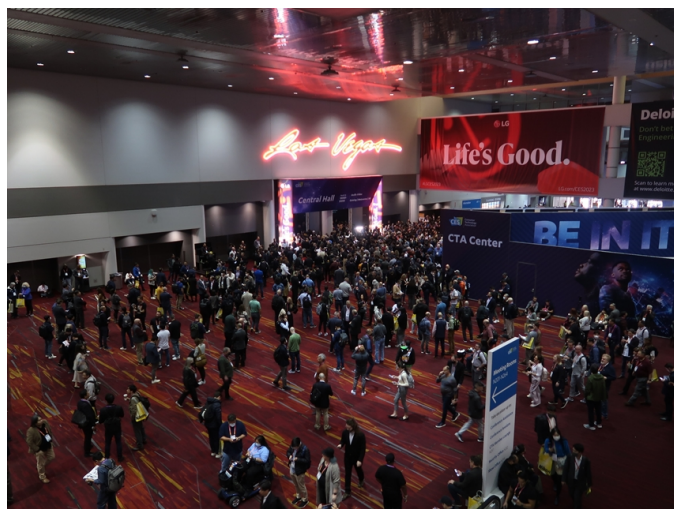
今回は、1月5日から8日までアメリカ・ラスベガスで開催された世界最大規模のテクノロジーの国際見本市「CES®2023」をレポートするよ。

ブリヂストンも出展するというので、僕も超久々の海外出張！ラスベガスまでひとつ飛びしてきたので、ぜひ最後まで読んでみてね～。

CESはラスベガス市内のホテルやコンベンションセンター等を活用して複数の会場で開催されたんだ。ブリヂストンはメイン会場であるラスベガス・コンベンションセンターのオートモーティブエリアに出展したよ。昨年まではコロナ禍で来場制限があったけど、今年は通常開催されたということもあって、会場は大賑わい。出展社数3200社（昨年比約1000社増）、来場者数は最終日までで11万5千人（昨年比6万人増）を記録したそう…！



会場のラスベガス・コンベンションセンター。日本で言う東京ビッグサイトのような場所だけど、もっともっと広いんだ～



オープンと同時にたくさんの人がやってきたよ



ひろ～い場内を進んで、ブリヂストンブースに到着！

「Bridgestone E8 Commitment」を軸に、持続可能なタイヤやソリューションの具体例、ビジネスモデルについて3つのエリアに分けて展示していたよ。その3つを詳しく紹介するね～。

「Enabling Circularity」エリアー持続可能なタイヤを「創る」、タイヤを原材料に「戻す」取り組み



グアユール実用化に向けた取り組みや、使用済みタイヤを原材料に戻す取り組み「EVERTIRE INITIATIVE」について展示していたよ。グアユール由来の天然ゴムを使用したインディカーのタイヤも発見。サイドウォールのゴムにグアユールが使われているんだって。

ちなみに、グアユールは、砂漠のような乾燥地帯でも育つ植物で、パラゴムノキ由来のゴムに匹敵する成分を含んでいる新しい天然ゴム資源として期待されている植物なんだ。タイヤの原材料に欠かせない天然ゴムは、現在は熱帯雨林で育ったパラゴムノキから採取されているんだけど、気候変動等による生産量低下のリスクがあるんだ。ブリヂストンはグアユール由来の天然ゴムを使用したタイヤの実用化と、天然ゴム供給源の多様化を目指した取り組みを進めているよ。

「Enabling the Autonomous and Electric Future」 エリアー カーボンニュートラルなモビリティ社会の実現を足元から支える取り組み



「EV時代の新たなプレミアム」として位置づけられている、環境性能と運動性能を両立する「ENLITEN」技術を搭載したコンセプトタイヤや、Firestoneの空気バネ「Airide」、タイヤセンサー等を組み合わせたモックアップを映像とともに紹介していたよ。リアルとデジタルを連携させ、使用状況を把握・予測することで、お客様の安心・安全な運転を支えると共に、CO2削減・資源生産性向上などサステナビリティへも大きく貢献する取り組みを訴求したんだ。注目の展示のひとつとして周りにはいつも人が多く集まっていたよ。

「Empowering Mobility」 エリアーリアル×デジタルで、お客様一人ひとりにカスタマイズしたソリューションを提供する取り組み



リアルとデジタルを組み合わせお客様一人ひとりにカスタマイズしたソリューションの具体例を紹介したよ。将来のビジョンについても触れていて、個人向け、個人事業主、運送事業者向けソリューションについて紹介していたよ。スマホだけでタイヤの管理から交換・メンテナンスまでができることを目指しているんだって。実現できたらとっても便利だね～。



これは、3つのエリアの根幹にある、「Bridgestone E8 Commitment」を紹介したトンネル。ブリヂストンの使命とビジョン、そして全ての取り組みの軸となっていることを説明していたよ。



月面タイヤの展示も発見。ブース前を通る来場者も変わった形のタイヤに興味津々で、周りにはいつも人だかりができていたよ。昨年ブリヂストンはアメリカのテレデザイン社が主導する月面探査車の開発チームへの参画を発表したし、今後の挑戦がますます楽しみ！

今回ブリヂストンブースは、ブリヂストンアメリカス（以下、BSAM）、ブリヂストンヨーロッパ（以下、BS EMIA）、(株)ブリヂストンから成る25人のグローバルチームで運営したんだって。皆さんとっても熱心に説明していたのでその様子を少しご紹介するよ。



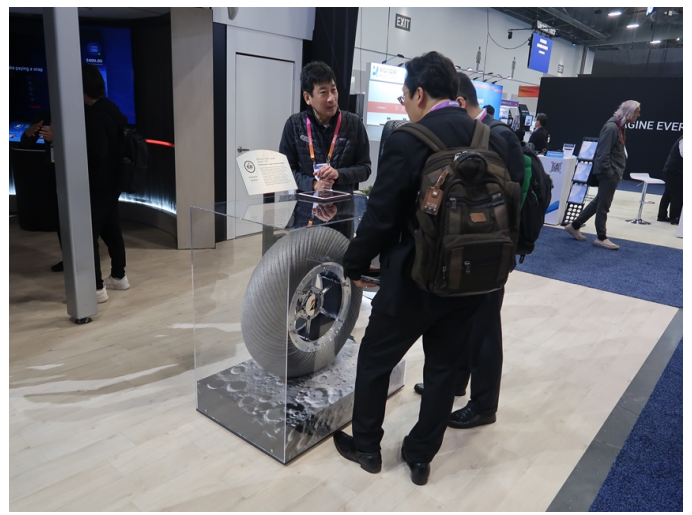
BSAMでサステナブルマテリアルやサーキュラーエコノミーの応用研究を担当するMarcela Castanoさん



BSAMで長年RFIDの研究をされているTerence Weiさん



BSEMIAサステナビリティ担当のAlina Papaさん



月面タイヤについて説明する(株)ブリヂストン 次世代技術開発統括部門長の石山さん

それから、ブリヂストンタイヤを装着していた車両を会場で見つけたよ。



初披露されたソニー・ホンダのEV「AFEELA」プロトタイプ。タイヤは「POTENZA S001L RFT」



メルセデス・ベンツ「Vision EQXX」は、「TURANZA × ologic × ENLITEN」を装着



Lightyear Oneは「TURANZA × ENLITEN」を装着



自動運転車のレース「Indy Autonomous Challenge」の出場車両。ブリヂストンはタイヤサプライヤーとしてレースをサポートしているよ

以上、ラスベガスからアロー君がお届けしました！

☆おまけ☆アロー君のワールドワイドなライバル現る！？

CESの視察後、ラスベガスのコンベンションセンター横のベーグルショップで、ひと際目を惹く色と形のドーナツが！「PINKY」の形や色はなかなか日本では見かけないドーナツだね。異国の文化に大きな衝撃を受けた瞬間！また海外に行くことがあれば、こんな小ネタもあわせて紹介するね。

それでは、またね～☆



関連タグ：

イベントレポート

アロー君

👍 いいね！ (86)



みんなからのコメント待ってるよ！

投稿名をご記入ください 例) アロー君

コメントをご記入下さい。



※「コメントする」を押してもすぐにはコメントは反映されません。
管理者にて確認の上、反映されます。コメント掲載基準については [こちら](#) をご覧ください

コメントする



ウクライナ人留学生のインターン
シップ受け入れ開始！

【師匠も弟子】（株）ブリヂストン 防府工場 品質保証課 検査係



メルマガ会員登録

メルマガ会員の方には、最新の記事や
Web版アクセスランキングなどの情報を
いち早くお届けいたします。

メルマガ登録



＞ 記事一覧

＞ Arrowについて

＞ サイトマップ

＞ メッセージボード

＞ アンケート

＞ ご意見・ご要望

＞ ライブラリ

グループ報Arrow発信元／お問い合わせ先
(株)ブリヂストン Arrow編集部
i.arrow@bridgestone.com



